

第2回市民意見交換会の抽出課題

	総務企画委員会	福祉保健委員会	文教経済委員会
抽出テーマ	入湯税について	子育て環境について	1. 林業振興について 2. 景気対策について 3. 畜産振興について
意見概要	「温泉の維持費が重い、エコなエネルギーとして優遇措置は講じられないか。」の意見及び入湯税の還元に関する陳情書	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の入園基準が厳しくなったと感じる ・保育園の民営化による雇用の減 ・保護者以外の地域住民への説明不足 	<p>1. 要望の概要にあるように多面的機能を有する森林林業問題は全面積の92.5%を森林で占める高山市において重要な政策課題であり、林業者の林業経営においても深刻さを増してきている。今回の意見交換会の中で、委員会としてこの意見を抽出し、総合的な林業振興を課題として調査研究を進めることとする。</p> <p>2. (第2回意見交換会) <ul style="list-style-type: none"> ・就職が厳しい状況。働く場を増やし、定住人口増大に努力して欲しい。 ・産業団体と行政との意識ずれ。融資対策、中小企業対策ができていないのでは。 (第1回意見交換会) <ul style="list-style-type: none"> ・高山の各個人企業などの景気現状を調査してほしい。 ・若者の流出が止まらない。ワークシェアリングなど高山の働くビジョンを示すべき。 ・高卒の勤め先がない。行政で真剣に取り組んで欲しい。 </p> <p>3. 畜産振興と獣医師の確保について</p>
評価と課題	<p>評価・・・平成20年度までの観光振興に関する財源充当は、40%弱に留まっていたが、平成21年度の観光振興に対しては、60%までに上がってきている。入湯税の観光振興への還元率は高くなってきており「国際観光都市高山」を支援する考え方は評価できる。また、観光客が増えることによって増加が予想されるゴミ等環境衛生施設の整備の充当も必要不可欠となっていると思われ、現在、入湯税への財源配分は適正に行われていると考えられる。</p> <p>課題・・・入湯税による財源配分の考え方や間接税である特殊性を鑑み、特別徴収義務者に対して何らかの恩恵を与える必要があるのではないかな。また、観光地と言われる場所は必ず温泉があり、税率など他地域と比較して高山市にあった入湯税率が考えられないかなど。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「待機児童はない」ことになっているが、入園申込み以前の段階で門戸を閉ざしていないか。 ・一部の保護者による「民営化反対」に十分説明が尽くされていない。 ・国の保育制度改革の動向が不明 	<p>1. 国の補助政策においては、森林の集約化を進め、30ha以上の施業計画でないと補助が出ない状況だ。小規模林業経営の振興に努力してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・獣害(熊)による森林被害が深刻である。対策をお願いしたい。 ・県では、森林管理委員会を設置して、団地ごとの整備を進めているようだが高山市の取組みはどのようになっているのか。飛騨牛ブランド化の取組みは積極的に行われている。 </p> <p>2. 融資問題も含めた景気対策及び定住人口増、雇用問題を提言する。 (プレミアム補正および入札、公共事業の発注増には、すでに9月、12月補正で取り組んでいる。これを踏まえて次なる対応策を検討する)</p> <p>3. 畜産振興について <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖目標4000頭に対し、現在約3500頭となっている。 ・口蹄疫、鳥インフルエンザ等の防疫対策や畜産振興における獣医師の役割は大きなものがある。 ・TPPIに参加した場合の対応策 </p>